

## 第64回 役員会議事要録

日時 平成21年10月23日（金）午後1時30分～午後3時10分  
場所 第三会議室（事務局管理棟3階）  
出席者 学長 野口誠之、理事（企画・研究担当）佐久間春夫、理事（教育・学生支援担当）野口哲子、理事（管理運営担当）馬場祐次朗、理事 本田元子  
列席者 監事 岡 秀松、上野祐子  
  
議長 野口学長

### 報告事項

#### 1. 平成20年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について

学長から、平成20年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）が資料1のとおり国立大学法人評価委員会から示されたことの報告があり、評価結果（原案）の内容及び意見照会への対応について説明があった。

なお、監事から、財務内容の改善において評価を受けた創立百周年の寄附金について、今後、当該基金の管理運用に係る学内規程を整備し、目的及び使途の明確化を図る必要があるとの意見があった。

#### 2. 人事異動について

総務・企画課長から、9月30日及び10月1日付けの人事異動について資料2により報告があった。

#### 3. その他

##### (1) 女性教員比率の向上並びに若手研究者養成加速に係る支援方策について

学長から、第二期中期目標・中期計画に掲げる女性教員比率を30%以上とする計画を達成するため、第二期の中期目標期間に先立ち、今年度から学長裁量経費を用いて新規に女性教員を採用した学部・研究科に学部長等裁量経費として一定の予算を配分し、女性教員の採用促進を図ることとしたこと、あわせて、若手研究者のエンカレッジを目的として、今年度から新規に採用した助教に対し「若手研究者養成支援経費」として一定の研究費を追加配分することとしたことの報告があった。

なお、監事から、経費を措置して事業を進めるにあたっては、第三者的な視点を意識するとともに、効果を適宜検証し、見直しを図ることも必要であるとの意見があった。

また、職員人事に関連して、職員の質の担保、任期制、評価システム、メンタルヘルスの問題等の現存する様々な課題について意見交換が行われた。

##### (2) 平成21年度第1次補正予算の執行の見直しについて

学長から、政権交代に伴い文部科学大臣から執行の一部留保の要請があった今年度第1次補正予算について、政府において執行を見直す事業が決定し、文部科学大臣から通知があったことの報告があり、本学に係る事業の見直し結果について説明が

あった。

(3) その他

監事から、卒業生との連携について大学がより積極的に関与することの必要性について意見があり、社会で活躍する卒業生からの提言を収集する方策や、卒業生ネットワークの更なる充実の必要性等について意見交換が行われた。

以 上